



Japan Society of Internship
and Work Integrated Learning

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

2022 年度 NO.1

■目次

- ・第 23 回大会を終えて
- ・第 24 回大会開催に向けて
- ・理事会報告
- ・2022 年度総会報告
- ・2021 年度事業報告及び決算報告
- ・2022 年度事業計画及び予算
- ・年報編集委員会報告
- ・広報委員会報告
- ・学会表彰委員会報告
- ・企画研究委員会報告
- ・選挙管理委員会報告
- ・支部活動報告
(北海道支部、東日本支部、関西支部、九州支部)
- ・事務局からのお知らせ
- ・会員情報 (2022 年 5 月～2022 年 11 月)

第 23 回大会を終えて

2022 年 8 月 27 日(土)、28 日(日)に第 23 回大会を久留米大学御井学舎においてオンラインと対面の併用形式で開催しました。対面を伴う 2 日間会期での開催は 3 年ぶりでもあり、併用開催は初の試みでした。

「学校と社会をつなぐ職業統合的学習 (WIL)」という大会テーマは、前年度に『インターンシップ研究年報』第 24 号での特集で検討されたインターンシップから職業統合的学習 (WIL) への領域拡充への議論を踏まえ、今後の可能性を探究することを目的としたものです。



大会 1 日目午前の部は大会校企画の会長講演「職業統合的学習 (WIL) と学会のあゆみ」と題し、吉本圭一会員 (滋慶医療科学大学) から学会のコアテーマとなる「職業統合的学習 (WIL)」のエッセンスについて講演いただきました。講演記録動画は、右 QR コードもしくは <https://youtu.be/EI6AQ67qAlo> サイトから視聴できます。



次に、学会表彰委員会による 2021 年度高良記念研究助成の成果報告として、宮田弘一会員から「リモートインターンシップに対する教員の認識変容プロセスに関する質的分析—M-GTA を用いて—」というテーマで報告がなされました。その後、学会表彰委員会委員長の小林純会員 (札幌国際大学短期大学部) から 2022 年度高良記念研究助成の採択結果が発表され、桑畑夏生会員 (宮崎大学) への授賞式が行われました。

午後の部は会員年次総会が行われた後に、シンポジウム「多様な職業統合的学習 (WIL) をめぐる横断的な対話からの学び」が行われました。司会・井本浩之会員 (西九州大学)、コーディネータ・江藤智佐子会員 (久留米大学) から趣旨説明が行われ、4 名のシンポジストからは資格系実習として看護・三橋睦子氏 (久留米大学)、教職・山口圭介会員 (玉川大学)、社会福祉・岡部由紀夫会員 (西九州大学) が、人文

社会学系インターンシップは亀野淳会員 (北海道大学) からそれぞれ分野固有の実習の特徴について話題提供がなされました。4 つの実習を横断的に検討し、相互に学び合うという観点からディスカサントの吉本圭一会員 (滋慶医療科学大学) から新たな職業統合的学習 (WIL) に向けての意見が示され、フロアを交えて活発な議論が展開されました。



大会 2 日目は会員による研究発表 20 件(4 会場×5 セッション)が行われました。どの会場も参加者相互の活気に溢れる意見交換がなされていました。2 日間の参加者は 129 名(うち会場参加者 60 名)でした。感染急拡大の時期と重なったことから日々変化する COVID-19 の感染対策に終始振り回されていたため、ギリギリまで開催形式やプログラムが定まらず参加者の皆様にはご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。対面を伴うオンライン開催は前例がなく、次々に生じるトラブルに疲弊することもありましたが、九州支部大会実行委員メンバーがすぐに対応に走り回っていただいたお陰で何とか 2 日間を乗り切ることができました。また、本大会で最も有難かったのは参加者の皆様のご支援とご協力です。会場校からの様々な感染対策のお願いに対し、積極的にご協力いただいたお陰をもちまして会期中に体調不良者がでることなく無事に大会を終えることができました。多くの方々に支えられての大会でした。大会にご参加いただいた皆様、学生スタッフをさりげなくサポートいただいた皆様、運営にご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

今回の大会記録は第 24 回大会開催校の追手門学院大学に引き継ぐとともに、次回大会での会員の皆様のさらなる研究のご発展とご盛會を祈念いたしております。

(第 23 回大会実行委員長 江藤智佐子・久留米大学)

第 24 回大会に向けて

転換期の第 24 回大会開催に寄せて

第 24 回大会は、2023 年 9 月 16 日（土）・17 日（日）の 2 日間、追手門学院大学（以下、追大）茨木総持寺キャンパス（大阪市茨木市）で開催することとなりました。追手門学院は、1888 年（明治 21 年）、陸軍の大阪鎮台司令官であった高島鞆之助が創設した大阪偕行社附属小学校から始まります。現在では、こども園、小・中・高等学校、大学・大学院からなる、「独立自彊・社会有為」を教育理念とする総合学園です。

追大は、7 学部 3 研究科からなる総合大学です。近年、「行動して学び、学びながら行動する」という新教育コンセプトを掲げ、本学独自の学修スタイル「OIDAI WIL (Work-Is-Learning)」を提唱し実践しています。また、ICT を含めたあらゆる手法を駆使し、教育内容に合わせた(MATCH した) 教育効果を最大化する追大独自の教育手法として「OIDAI MATCH (MAXimized-TeaCHing)」を提唱し推進しています。

さて、第 24 回大会のテーマですが、「原点帰帰。今改めてインターンシップを考える。」です。インターンシップは、1997 年の三省合意を契機に、中央教育審議会答申や文部科学省の政策に影響を受けながら、日本の高等教育においても普及・浸透してまいりました。しかし、採用と大学教育の未来に関する産学協議会が発表した 2021 年度報告書「産学協働による自律的なキャリア形成の推進」では、インターンシップ等の学生のキャリア形成支援に係る取組の四類型を明記すると共に、インターンシップと称することのできる取組の要件が明確化され、さらにこれを受けて 2022 年 6 月には三省合意が改正されました。そして、現在の 2 年生が 3 年生となる 2023 年度から適用されることとなりました。今、産業界や教育の現場で、インターンシップは転換期を迎えようとしていると言っても過言ではありません。そしてこの転換は、インターンシップとは何かという問いを、それぞれの立場や現場で関わる関係者に投げかけたのではないのでしょうか。第 24 回大会がそれぞれの立場の違いを超えて、考える機会になればと希望しています。

なお、開催型式については現在調整中ですので、決定次第、プログラム内容等と共に学会ウェブサイトやメルマガ等でご案内します。また、大会ホームページの開設、参加申込受付開始のご案内、「研究発表」募集のお知らせについても、随時情報発信を行ってまいります。

転換期の大会開催に向けて、会員の皆様のご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

(第 24 回大会実行委員長・伊藤文男・追手門学院大学)

理事会報告

2021 年度 第 6 回理事会

(2022 年 6 月 21 日 *Web 会議)

入退会の審査、支部のあり方について、第 23 回大会準備状況ならびに学会広報の見直しについての 4 つの事項の協議がされました。また、前回理事会の議事録が確認され、各委員会・各支部より、活動状況が報告されました。協議の概要は次のとおりです。

(1) 入退会の審査

・事務局より、資料が提示され、協議を行った結果、入会 6 件(個人会員 6 件)、退会 8 件(個人会員 7 件、法人会員 1 件)を承認した。

(2) 支部のあり方について

・吉本会長より、会則第 21 条の 2「支部及び委員会の種類、構成及び運営等必要な事項は別途理事会で定める。」の再確認がなされ、継続協議をおこなうこととなった。

(3) 第 23 回大会準備状況

・第 23 回大会実行委員長江藤理事より、研究発表についてはプログラムに掲載される全ての発表者(共同発表者を含む)は 2021 年度会費を納入済みであることが報告された。研究発表の申込は 20 件、司会 8 名が確定したことが報告された。大会運営については、1 日目がオンラインと対面の併用、2 日目がオンラインのみであるが、2 日目も会場でオンライン参加が可能であることが報告された。協議では、稲永理事より、2 日目の会場でのオンライン参加について、質疑応答時の発言者の音漏れやハウリング等の対策についての指摘がなされ、今後、大会実行委員会で対策を検討することになった。

(4) 学会広報の見直しについて

・広報委員会委員長眞鍋理事より、News Letter、メールマガジンの送付についての現状が説明され、広報委員会での検討報告ならびに学会広報の見直しについての今後の方向性と見直しの可能性が説明された。学会広報の見直しについては、ガリレオとの業務委託内容の見直しも含め広報委員会と事務局が連携し、継続協議をおこなうことが承認された。また、News Letter の電子化、学会ウェブサイト更新、メルマガ発行などの見直しについては、次年度予算への計上を行うことが提案され、次回理事会で検討することとなった。

2022 年度 第 1 回理事会

(2022 年 8 月 4 日 *Web 会議)

入退会の審査と会則の改訂に係る協議、会則に基づく総会に関わる事項の協議、選挙管理委員会ならびに 25 周年記念事業に係る協議が行われました。また、第 23 回大会の準備状況と第 24 回大会の開催に加え、前回理事会の議事録確認、各委員会・各支部報告がなされました。協議の概要は次のとおりです。

(1)入退会の審査

・事務局より資料が提示され、協議を行った結果、入会2件(個人会員2件)、退会2件(個人会員2件)を承認した。なお、吉本会長より、入退会審査に係る資料の共有の仕方については今後検討していく方針であることが示されるとともに、事務局次長江藤理事より、今回の理事会以降、入退会審査の結果を踏まえた会員数も報告することが説明された。入退会審査後の会員数は241件(個人会員198名、学生会員6名、法人・団体会員37件)である。

(2) 会則の改訂

・吉本会長より資料に基づき改定案が示され、審議の結果、以下の2か所の修正案について承認され、総会の議案とすることを決定した。稲永理事より企画研究委員会に関する規程についての質問があり、この点については、次年度までに検討を行うこととした。また、眞鍋理事より、事務局に係る記載事項の変更必要性が指摘され、この点についても、遡るかたちで承認を得るものとした。

〈第17条5〉(修正前)総会の議事録は議長が作成し、議長及び出席副会長2名が署名捺印しなければならない。→(修正案)議事録は、議長による確認・承認を得なければならない。〈第19条4〉(修正前)理事会及び常任理事会の議事録は議長が作成し、議長及び出席副会長2名が署名捺印しなければならない。→(修正案)議事録は、理事会による確認・承認を得なければならない。

(3) 2021年度事業報告・総会に係る事項

・事務局より、会則に基づき通常総会の開催についての告知に係る今後の予定が説明されるとともに、事業報告については現在各支部に依頼中であること、また最終的には総会前の理事会での承認をいただく予定であることが報告された。なお、監査については来週前半までに依頼予定であることも併せて報告された。これを受けて、吉本会長より、2022年度事業計画については、年報・広報など定例的な業務、各支部の研究会充実に加え、次年度は役員選挙を実施予定であることから、その前に会員名簿の作成が必要であること、学会活動の活性化として広報体制の充実を図る計画であること、さらに、次年度は楨本記念賞選出の年度にあたることを補足された。また、古田副会長より、総会前の理事会開催は、8月22日、24日、25日のいずれかを予定していることが補足された。

(4) 2022年度事業計画

・事務局より、各支部の活動の充実、選挙、広報など学会活動の活性化に係る計画の概要が説明された。これを受けて、吉本会長より、各計画の具体的な内容が示されるとともに、次年度は楨本記念賞の年であること、25周年記念事業についても予算を立てていることなどが説明された。

(5) 選挙管理委員会

・事務局より、昨年度の総会でオンライン選挙の実

施についての意見がなされたが、規程を再確認したところ、オンライン選挙の実施には問題なかったことが報告された。これを受けて、吉本会長より、次年度の役員選挙については、オンラインで行う方向で調整を進め、業務をガリレオに委託する予定であることが示された。また、選挙管理委員会規程については、現状委員数「3名」であるところを「3名以上」に変更して対応することを次回理事会で協議する予定であることが説明された。

(6) 25周年記念事業

・吉本会長より、ワーキンググループの設立について提案があり、承認された。内容としては記念誌の発刊と会員調査を行うものとし、前者の人選を江藤理事、後者を亀野会員に依頼するものとした。これについて、企画研究委員会委員長稲永理事より、企画研究委員会とワーキンググループの連携についての確認があり、引き続き検討を行うこととなった。

2022年度 第2回理事会

(2022年8月25日 *Web会議)

入退会の審査に加え、選挙に関する諸規定の改訂に係る協議、2021年度事業報告・決算、2022年度事業計画・予算、総会議案についての協議、選挙管理委員会と25周年記念に関するWGの設置についての協議を行いました。また、前回理事会の議事録が確認されるとともに、第23回大会の準備状況と広報委員長ならびに九州支部長任務の代行が報告されました。協議の概要は次のとおりです。

(1) 入退会の審査

・事務局より、資料が提示され、協議を行った結果、退会2件(個人会員1件、法人会員1件)を承認した。この承認を受け、現在の会員数は239件(個人会員197件、学生会員6件、法人・団体会員36件)となった。

(2) 選挙管理に関する諸規程の改訂

・事務局長より、資料に基づき「選挙管理委員会規程」「理事選挙規程」「会長、副会長、常任理事選出規程」の改訂案について説明があり、協議の結果、承認された。

〈選挙管理委員会規程1〉(改訂前)選挙管理委員会(以下、「委員会」という)は、理事以外の会員を含む3名の会員を委員として組織する。→(改訂後)選挙管理委員会(以下、「委員会」という)は、理事、事務局長、理事以外の会員を含む3名以上の会員を委員として組織する。〈理事選挙規程5〉(改訂前)投票は無記名で行い、被選挙人の5名連記とする。投票は郵送で行う。→(改訂後)投票は無記名で行い、被選挙人の5名連記とする。投票は郵送または電子媒体等を用いて行う。〈会長、副会長、常任理事選出規程4〉(改訂前)投票は無記名で行い、被選挙人の中から1名を記入する。投票は郵送で行う。→(改訂後)投票は無記名で行い、被選挙人の中から1名を記入する。投票は郵送または電子媒体等を用いて行う。

(3) 2021 年度事業報告・決算

・事務局より、資料に基づき 2021 年度事業報告・決算の内容について説明があり、続いて新谷監事、平尾監事より監査結果について報告があった。稲永理事より、「高良記念研究助成事業」「楨本記念賞事業費」の名称表記（事業または事業費）を統一することについて確認があった。山口事務局長より「高良記念研究助成事業」を「高良記念研究助成事業費」に修正することの説明があり、協議の結果、承認された。

(4) 2022 年度事業計画・予算

・事務局より、資料に基づき 2022 年度事業計画・予算の内容について説明があった。稲永理事より、「事業費」「事務管理費」の科目に含む項目の妥当性について疑義が示された。これについては、山口事務局長より、2023 年度予算策定時までにガリレオと協議し、必要に応じて見直すことの説明があり、協議の結果、承認された。

(5) 総会議案の確認

・事務局より、資料に基づき総会議案および内容の説明があり、協議の結果、承認された。これに関連し、古田副会長より役員体制について確認があり、吉本会長より副会長・常任理事は総会で承認される必要があること、総会で承認後に Web サイトの修正を行うことが説明された。あわせて、Web サイトには各委員会・WG 構成を掲載することが確認された。

(6) 選挙管理委員会の設置

・吉本会長より、資料に基づき選挙管理委員会の設置についての提案があり、協議の結果、委員長を手嶋慎介会員、委員を椿明美会員・山口圭介会員に委嘱することが承認された。

(7) 25 周年記念に関する WG の設置

・吉本会長より、資料に基づき 25 周年記念に関する WG の設置についての提案があり、協議の結果、25 周年記念誌刊行 WG の委員を江藤智佐子会員（委員長）、山口圭介会員、和田佳子会員に、会員動向調査 WG の委員を亀野淳会員（委員長）、高橋秀幸会員、中島美佐穂会員に各々委嘱することが承認された。

2022 年度 第 3 回理事会

(2022 年 11 月 20 日 *Web 会議)

入退会の審査、第 24 回大会の開催概要と会員名簿の作成に係る協議を行いました。加えて、会則第 21 条の 2 に基づき、吉本会長より、学会のウェブサイト等の見直しを進めていることから、新たに宮崎愛弓会員に広報委員を委嘱することについての提案がなされ、承認されました。また、前回理事会の議事録ならびに総会議事録が確認されるとともに、第 23 回大会の開催報告がなされました。さらに、各委員会・各支部・事務局より、報告がありました。協議の概要は次のとおりです。

(1) 入退会の審査

・事務局より、資料が提示され、協議を行った結果、退会 11 件（個人会員 9 件、法人会員 2 件）を承認した。会則第 8 条 2 に基づき、3 年以上の会費未納の場合は自然退会となるが、今回の審議では、滞納期間 4 年以上になる個人会員 9 名を自然退会とし、滞納期間 3 年以上の 6 名については 12 月に再度会費納入督促を行い、2022 年度末までに会費が納入されなかった場合は、2023 年度第 1 回理事会において自然退会とする旨が説明された。この承認を受け、現在の会員数は 228 件（個人会員 188 件、学生会員 6 件、法人・団体会員 34 件）となった。またメールアドレス等不明会員 13 名に対しての会員情報更新依頼を継続的に行うことが説明された。

(2) 第 24 回大会開催概要

・第 24 回大会実行委員長として伊藤文男会員がオブザーバーとして今回より理事会に出席し、大会準備報告を行うことになった。資料に基づき大会テーマ、実行委員会組織、実施形態など、第 24 回大会の概要が示され、協議を行った結果、大会テーマを「原点帰帰。今改めてインターンシップを考える。」とすることが承認された。また、開催方法とこれに係るプログラム等については、経費の更なる支援を含め、引き続き検討することとなった。

(3) 会員名簿の作成について

・事務局より、ガリレオとのさまざまな業務提携内容の見直しを図るなかで、会員名簿の情報を「Web 会員名簿（検索システム）」の使用により、代替できる可能性が示された。ガリレオの担当者交代に伴い、理事会で入退会承認後に速やかに会員情報が反映されるようになったこと、また会員名簿と同じ機能の最新情報が会員情報として検索でき、画面から一覧性も確認できることが報告された。これを踏まえ、紙媒体での名簿作成の是非について協議を行った結果、印刷物による名簿作成を見送ることが承認された。

2022 年度総会報告

2022 年度総会が、2022 年 8 月 27 日（第 23 回大会 1 日目）に開催されました 2022 年度総会では、次の 8 つの議題および議案についての審議が行われ、承認されました。

1. 2022 年度の運営体制（案）
2. 2021 年度 事業報告（案）
3. 2021 年度 決算報告（案）・2021 年度 監査報告
4. 会則の改訂について（案）
5. 2022 年度 事業計画（案）
6. 2022 年度 予算（案）
7. 2022 年度 高良記念研究助成表彰
8. 第 24 回大会について（案）

2021年度 事業報告

1. 2021年度事業期間

2021年7月1日～2022年6月30日

2. 事業の概要

(1) 第22回大会開催（オンライン開催）	*開催担当校：札幌国際大学	2021年	9月18日
(2) 『インターンシップ研究年報』第24号発行		2021年	11月30日
(3) 2021年度 高良記念研究助成実施		2021年	—
(4) 企画研究活動の実施			
(5) NEWS LETTER 発行	No.1	2021年	12月14日
	No.2	2021年	5月16日

3. 総会

定例 2021年 9月 18日 （オンラインによる開催）

4. 理事会

第1回	2021年	8月	11日	(Web会議)
第2回	2021年	9月	15日	(Web会議)
第3回	2021年	10月	16日	(Web会議)
第4回	2021年	12月	23日	(Web会議)
第5回	2022年	3月	17日	(Web会議)
第6回	2022年	6月	21日	(Web会議)

5. 各支部報告

(1) 北海道支部				
①支部総会・第1回研究会 (Web開催)		2022年	3月13日	
(2) 東日本支部				
①支部総会・第1回研究会 (Web開催)		2021年	11月7日	
②第2回研究会 (Web開催)		2022年	3月23日	
③支部総会・第3回研究会 (Web開催)		2022年	6月12日	
(3) 関西支部				
①第1回研究会 (於：キャンパスポート大阪/ハイブリッド開催)		2021年	12月10日	
(4) 九州支部				
①支部総会・第26回研究会 (Web開催)		2021年	7月31日	
②第27回研究会 (Web開催)		2022年	3月19日	

2021年度 日本インターンシップ学会 一般会計 収支計算書

(2021年7月1日～2022年6月30日)

一般会計【収入の部】

(単位:円)

大科目	中科目	2021年度予算(a)	2021年度決算(b)	予実差異(b-a)
会費収入	小計	2,525,000	2,570,000	45,000
	個人会員	1,760,000	1,850,000	90,000
	学生会員	45,000	20,000	-25,000
	法人・団体会員	720,000	700,000	-20,000
事業収入	小計	0	0	0
	研究会収入	0	0	0
	書籍・年報等販売収入	0	0	0
雑収入	小計	0	560,670	560,670
	受取利息	0	0	0
	その他の収入	0	1,000	1,000
	大会開催費余剰金	0	118,601	118,601
	北海道支部余剰金	0	199,615	199,615
	東日本支部余剰金	0	10,149	10,149
	関西支部余剰金	0	139,285	139,285
	九州支部余剰金	0	92,020	92,020
	当期収入合計(A)		2,525,000	3,130,670
前期繰越金		8,579,965	8,579,965	
収入合計(B)		11,104,965	11,710,635	

一般会計【支出の部】

大科目	中科目	2021年度予算額	2021年度決算(b)	予実差異(b-a)
事業費	小計	1,728,000	1,610,813	-117,187
	北海道支部活動費	200,000	200,000	0
	東日本支部活動費	200,000	200,000	0
	関西支部活動費	200,000	200,000	0
	九州支部活動費	200,000	200,000	0
	大会開催費(大会開催準備費)	300,000	300,000	0
	年報作成費	400,000	428,863	28,863
	J-stage掲載関連費	228,000	48,950	-179,050
	記念事業費	0	0	0
	役員選挙費	0	33,000	33,000
	名簿作成費	0	0	0
	事務管理費	小計	1,609,600	1,149,987
通信費(郵送料等)		120,000	88,957	-31,043
HP管理費		39,600	39,600	0
役員・委員等旅費補助		350,000	0	-350,000
業務外部委託費		1,000,000	1,016,315	16,315
その他運営費		100,000	5,115	-94,885
当期支出小計		3,337,600	2,760,800	-576,800
特別会計へ	積立金	100,000	100,000	0
	寄付金	100,000	0	-100,000
予備費	予備費	7,567,365	0	-7,567,365
当期支出合計(C)		11,104,965	2,860,800	
当期収支差額(A)-(C)		-8,579,965	269,870	
次期繰越金(B)-(C)		0	8,849,835	
支出合計		11,104,965	11,710,635	

2021年度 日本インターンシップ学会 特別会計 収支計算書

(2021年7月1日～2022年6月30日)

特別会計【収入の部】

(単位:円)

大科目	中科目	2021年度予算(a)	2021年度決算(b)	予実差異(b-a)
寄付金 積立金	一般会計より	100,000	0	-100,000
	小計	100,000	100,000	0
雑収入	一般会計より	100,000	100,000	0
	小計	0	1,020	1,020
	受取利息 その他の収入	0 0	0 1,020	0 1,020
当期収入合計(A)		200,000	101,020	
前期繰越金		86,796	86,796	
収入合計(B)		286,796	187,816	

特別会計【支出の部】

大科目	中科目	2021年度予算(a)	2021年度決算(b)	予実差異(b-a)
特別事業費	小計	200,000	100,000	-100,000
	高良記念研究助成事業費	100,000	100,000	0
	槇本記念賞事業費	100,000	0	-100,000
事務管理費	小計	1,000	440	-560
	振込手数料	1,000	440	-560
	その他	0	0	0
予備費	予備費	85,796	7,445	-78,351
当期支出合計(C)		286,796	107,885	
当期収支差額(A)-(C)		-86,796	-6,865	
次期繰越金(B)-(C)		0	79,931	
支出合計		286,796	187,816	

2021年度 日本インターンシップ学会

貸借対照表兼財産目録

(2022年6月30日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	9,121,758	【流動負債】	191,992
預金	8,782,858	未払費用	41,992
郵便振替口座①	8,762,858	前受金	150,000
郵便振替口座②	20,000	仮受金	0
未収入金	338,900	特)未払金	0
仮払金	0	特)未払費用	0
立替金	0		
一)未収入金	0		
【固定資産】	0	【固定負債】	0
		(純資産の部)	
		剰余金	8,929,766
		(一般会計繰越金)	8,849,835
		(特別会計繰越金)	79,931
資産合計	9,121,758	負債・純資産合計	9,121,758

(注)本来は貸借対照表と財産目録を個別作成する必要があるが、財産が僅少のため当面本表にて対応することとする。

〈2022年度事業計画及び予算〉

2022年度 事業計画

1. 2022年度事業期間

2022年7月1日～2023年6月30日

2. 事業の概要

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| (1) 第23回大会の開催（ハイブリッド開催） | 2022年 8月27-28日 |
| (2) 支部研究会の開催（各支部1～3回程度） | — |
| (3) 学会研究活動の企画・推進 | — |
| (4) 『インターンシップ研究年報』第25号の刊行 | 2022年 10月を予定 |
| (5) News Letterの発行（年2回）及びその他の広報活動の充実 | — |
| (6) 2022年度 高良記念研究助成実施 | — |
| 2023年度 高良記念研究助成募集・選考 | |
| (7) 2021・2022年度 楨本記念賞の募集・選考 | — |
| (8) 学会創設25周年事業の実施 | — |
| (9) 理事・会長選挙の実施 | 2023年 5-6月を予定 |

2022年度 日本インターンシップ学会 一般会計 予算

一般会計【収入の部】		(単位:円)					
大科目	中科目	2022年度予算額	2021年度予算額	2021年度実績	2020年度実績	2019年度実績	予算増減
会費収入	小計	2,420,000	2,525,000	2,570,000	2,695,000	2,728,000	-105,000
	個人会員(10,000円)	1,740,000	1,760,000	1,850,000	1,830,000	1,803,000	-20,000
	学生会員(5,000円)	20,000	45,000	20,000	45,000	65,000	-25,000
	法人・団体会員(20,000円)	660,000	720,000	700,000	820,000	860,000	-60,000
事業収入	小計	0	0	0	0	0	0
	研究会収入	0	0	0	0	0	0
	書籍・年報等販売収入	0	0	0	0	0	0
雑収入	小計	0	0	560,670	940,141	0	0
	受取利息	0	0	0	0	0	0
	その他の収入	0	0	1,000	200,000	0	0
	大会開催費余剰金	0	0	118,601	0	0	0
	北海道支部余剰金	0	0	199,615	199,505	0	0
	東日本支部余剰金	0	0	10,149	199,340	0	0
	関西支部余剰金	0	0	139,285	155,406	0	0
	九州支部余剰金	0	0	92,020	185,890	0	0
当期収入合計(A)		2,420,000	2,525,000	3,130,670	3,635,141	2,728,000	-105,000
前期繰越収支差額		8,849,835	8,579,965	8,579,965	8,180,884	7,047,017	269,870
収入合計(B)		11,269,835	11,104,965	11,710,635	11,816,025	9,775,017	164,870

一般会計【支出の部】							
大科目	中科目	2022年度予算額	2021年度予算額	2021年度決算(b)	2020年度実績	2019年度実績	予算増減
事業費	小計	1,810,000	1,728,000	1,610,813	1,832,321	321,117	82,000
	北海道支部活動費	200,000	200,000	200,000	212,368	0	0
	東日本支部活動費	200,000	200,000	200,000	200,000	3,905	0
	関西支部活動費	200,000	200,000	200,000	200,000	150,000	0
	九州支部活動費	200,000	200,000	200,000	200,000	6,832	0
	大会開催費(大会開催準備費)	300,000	300,000	300,000	300,000	0	0
	年報作成費	400,000	400,000	428,863	626,692	160,380	0
	J-stage掲載関連費	60,000	228,000	48,950	10,450	0	-168,000
	学会創設25周年記念事業費	100,000	0	0	0	0	100,000
	役員選挙費	100,000	0	33,000	82,811	0	100,000
	名簿作成費	50,000	0	0	0	0	50,000
事務管理費	小計	2,029,600	1,609,600	1,149,987	1,203,739	1,273,016	420,000
	通信費(郵送料等)	120,000	120,000	88,957	115,690	27,714	0
	HP管理費	39,600	39,600	39,600	42,900	36,060	0
	役員・委員等旅費補助	350,000	350,000	0	0	184,800	0
	業務外部委託費	1,020,000	1,000,000	1,016,315	967,923	1,006,410	20,000
	広報委員会関連費	300,000	0	0	0	0	300,000
	企画研究委員会関連費	100,000	0	0	0	0	100,000
	その他運営費	100,000	100,000	5,115	77,226	18,032	0
当期支出小計		3,839,600	3,337,600	2,760,800	3,036,060	1,594,133	502,000
特別会計へ	積立金	100,000	100,000	100,000	0	0	0
	寄付金	100,000	100,000	0	200,000	0	0
予備費	予備費	7,230,235	7,567,365	0	0	0	-337,130
当期支出合計(C)		11,269,835	11,104,965	2,860,800	3,236,060	1,594,133	164,870
当期収支差額(A)-(C)		-8,849,835	-8,579,965	269,870	399,081	1,133,867	-269,870
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	8,849,835	8,579,965	8,180,884	

2022年度 日本インターンシップ学会 特別会計 予算

特別会計【収入の部】 (単位:円)

大科目	中科目	2022年度予算額	2021年度予算額	2021年度実績	2020年度実績	2019年度実績	予算増減
寄付金		100,000	100,000	0	200,000	0	0
積立金	小計	100,000	100,000	100,000	0	0	0
	一般会計より	100,000	100,000	100,000	0	0	0
雑収入	小計	0	0	1,020	0	0	0
	受取利息	0	0	0	0	0	0
	その他の収入	0	0	1,020	0	0	0
当期収入合計(A)		200,000	200,000	101,020	200,000	0	0
前期繰越収支差額		79,931	86,796	86,796	-12,504	87,496	-6,865
収入合計(B)		279,931	286,796	187,816	187,496	87,496	-6,865

特別会計【支出の部】

大科目	中科目	2022年度予算額	2021年度予算額	2021年度決算(b)	2020年度実績	2019年度実績	予算増減
特別事業費	小計	200,000	200,000	100,000	100,000	100,000	0
	高良記念研究助成事業費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	0
	榎本記念賞事業費	100,000	100,000	0	0	0	0
事務管理費	小計	1,000	1,000	440	440	0	0
	搬込手数料	1,000	1,000	440	440	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
予備費	予備費	78,931	85,796	7,445	260	0	-6,865
当期支出合計(C)		279,931	286,796	107,885	100,700	100,000	-6,865
当期収支差額(A)-(C)		-79,931	-86,796	-6,865	99,300	-100,000	6,865
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	79,931	86,796	-12,504	0

<会則の改訂について>

議案「4. 会則の改訂について(案)」の承認を受け、2022年8月27日付で会則が以下のように改訂されました

・(総会) 第17条の5

(改訂前) 総会の議事録は議長が作成し、議長及び出席副会長2名が署名捺印しなければならない。

(改訂後) 議事録は、議長による確認・承認を得なければならない。

・(理事会及び常任理事会) 第19条の4

(改訂前) 理事会及び常任理事会の議事録は議長が作成し、議長及び出席副会長2名が署名捺印しなければならない。

(改訂後) 議事録は、理事会による確認・承認を得なければならない。

<第24回大会について>

第24回大会は、2023年9月16日・17日に追手門学院大学で開催することが決定。

(事務局)

年報編集委員会報告

『インターンシップ研究年報』第 25 号を、2022 年 10 月末に発行しました。『インターンシップ研究年報』第 26 号の投稿受付を 2022 年 12 月 1 日より開始します(2023 年 1 月 20 日迄)。投稿受付にあたり、2 点お知らせとお願いを記します。

1 点目は、投稿規程の改訂です。具体的には、投稿原稿を「論文」「研究ノート」「資料」「事例紹介」に改めて整理し、それぞれの要件を明示しました。これまで通り「論文」「研究ノート」は専門分野の会員による査読を経ての掲載(査読有り)、「資料」「事例紹介」は編集委員による原稿確認を経ての掲載(査読無し)となります。特に編集委員会では、「論文」「研究ノート」に限らず、会員の実践に参考となる「資料」「事例紹介」への多くの投稿をお待ちしています。

2 点目は、研究倫理の再確認です。「論文」「研究ノート」「資料」「事例紹介」のすべてに共通することとして、投稿規程には、i. 他の学術雑誌に発表されたことがない、未発表のものであること。ii. 他誌へ投稿中の論文等または投稿する予定のある論文等でないこと(二重投稿の禁止)。iii. 研究倫理を遵守し、執筆すること。iv. 調査研究の場合は、調査対象者のプライバシーの保護を最大限尊重し、調査対象者が特定されないよう配慮するなど適切な予防策を講じること、等が既に明記されています。会員の皆さまの投稿をお待ちしています。

(追記)

『インターンシップ研究年報』第 25 号に下記の誤りがありました。訂正の上、深くお詫び申し上げます。

P.29 編集後記 下から 2 行目

(誤)「第 25 号研究論文・資料等投稿規程」

(正)「第 26 号研究論文・資料等投稿規程」

奥付

(誤) 玉川大学 キャリアセンター内

(正) 玉川大学 大学研究室棟内 山口研究室 日本インターンシップ学会事務局

(年報編集委員長 古田 克利・立命館大学)

広報委員会報告

学会 web サイトリニューアルに向けて

広報委員会は学会情報を内外に発信し「インターンシップに係わる諸問題の研究の推進・普及、社会に対する啓発・提言」という役割を担い活動を行っております。2022 年度は、ニューズレターやメルマガ配信など、通常の広報委員会業務に加えて、学会 web サイトのリニューアルに向けて作業を行って行く予定です。本学会の web サイトは、非常に複雑な構造になっており、その更新やメンテナンスに大変

な労力を要しております。それを、比較的簡単に更新作業等が可能なシステムに変更したいと考えております。会員の皆様には適宜 web サイトリニューアル情報を発信して参ります。

新メンバー

新たな委員として、宮崎愛弓会員(目白大学)に加わっていただきます。主として、web サイト関連業務を担当いただく予定です。

学会ウェブサイト・メールマガジン配信について

広報委員会では本学会に寄せられた研究会やセミナー開催案内および教員公募等、会員の皆さまにとって有益な情報を学会ウェブサイトに掲載するほか、随時、メルマガで配信しております。本学会に関連する情報がございましたら、広報委員会までメールでご連絡ください(jsi.prc@gmail.com)。なお、最終的な掲載可否は広報委員会で検討させていただきますのでご了承ください。

(広報委員会委員長 眞鍋和博・北九州市立大学)

学会表彰委員会報告

2022 年度(第 16 回)高良記念研究助成対象者決定報告

高良記念研究助成は、本学会初代会長である故・高良和武先生のご寄付により創設された、特に若手研究者の育成や、会員相互の研究交流を目的とするもので、毎年対象者を公募・決定しております。

今年度は 1 名の会員から助成申請があり、委員による厳正な審査の結果、桑畑夏生会員(宮崎大学)の「選択必修科目における実践型インターンシップ経験による教育効果の検証—宮崎大学地域資源創生学部「国内インターンシップ」の事例をもとに—」の 1 件が採択され、8 月 27 日に開催された第 23 回大会にて発表・表彰が行われました。桑畑会員の研究報告は 2023 年に予定されている第 24 回大会にて行われる予定です。

槇本記念賞の選定に向けて

槇本記念賞は、学会顧問、大阪経済大学名誉教授の槇本淳子先生のご寄付により創設され、2015 年の全国大会より 2 年毎に「秀逸なインターンシップ」事例を選定し、表彰を行っております。

2023 年に開催される第 24 回大会にて表彰を実施する予定ですが、今後各支部を中心として、インターンシップ事例をご推薦いただき、選定を進めて参ります。事例募集は、今後の理事会や Web サイトを通し各支部・会員の皆さまにお知らせします。会員の皆様におかれましては、ぜひ秀逸な事例を各支部と共有していただければと存じます。

インターンシップの多様性、また社会的認知は年々広がりつつあると考えられます。本学会や本記念賞の役割・意義がさらに高まることを期待しつつ、皆さまからの募集をお待ちいたしております。

(学会表彰委員会委員長 小林 純・札幌国際大学短期大学部)

企画研究委員会報告

今期の企画研究委員会では『インターンシップ専門人材』（仮）の養成をテーマに、国内外での状況を把握するとともに、その在り方（あるいは本学会としての関わり方）について検討を進めております。第1回委員会（2022年5月30日）の顔合わせに続き、第2回委員会（2022年7月2日）では、養成プログラムの1つである世界コーオプおよび職業統合学習協会の国際研究コミュニティ（WACE-IRC）による「グローバル WIL モジュール（Global WIL Module）」について、WACE-IRC アジア地域代表でもある田中寧委員（京都産業大学）から報告を戴き、検討を行いました。同じく WACE の国際研究シンポジウム（WACE-IRS 2022、2022年8月31日～同年9月2日、オンライン開催）には複数の委員が参加し、国際的なコミュニティの動向把握を試みております。

当委員会ではこの他に、同テーマでの会員調査を企画しておりますが、委員会での企画とは別に、本学会創設 25 周年記念事業準備のためのワーキンググループ（WG）の1つとして、10周年記念の際に実施された会員動向調査の延長上に「会員動向調査WG」が、会長の下に設置されました。そのため、この2つの調査企画を効率的に企画・運営すべく、当該WGの亀野WG長（企画研究委員と兼任）と調整をさせていただいた結果、会員を対象にした調査は当委員会と当該WGとの合同実施とし、当該WGのメンバーにもオブザーバーとして本委員会の議論に加わっていただけるよう、調整することになりました。会員のみなさまには、年が明けてから本調査へのご協力をお願いする予定に致しておりますので、ご案内がございましたらどうぞお力をお貸し下さいますよう、お願いいたします。

（企画研究委員会委員長 稲永 由紀・筑波大学）

支部活動報告

【北海道支部】

2022年度第1回研究会を開催しました。

2022年9月25日（日）、2022年度1回目となる研究会を開催いたしました。本会は札幌国際大学をメイン会場として、zoomでも中継を行うハイブリッド形式での開催となりました。対面・遠隔参加合わせて15名の方にご参加いただきました。

今回は「インターンシップを採用・企業研修活動に積極的に活用している企業」の方から現状と今後の展開についてお話しいただくことを目的として、住宅産業を中心として北海道を拠点とするヤマチュナイテッドグループより、採用に関わっておられる二瓶百花様（株式会社ヤマチマネジメント）に、ご講演を依頼いたしました。

当企業の採用活動の特徴として挙げられるのが「採用部署ごとのインターンシップ実施」ということです。多領域に事業展開する企業グループとして、

業務は多岐にわたるわけですが、採用後のミスマッチが起こらないように、総合職であっても最初の選考時点で志望部署を決定しており、また、インターンシップも採用活動担当者が直接プログラム開発を行っている、というものとなっています。「入社後の『こんなはずじゃなかった』を無くしたい」という考えから始まったインターンシップの導入は、学生への情報発信と合わせて、働くイメージの醸成にも繋げたい、というものでした。

講演の後には、フロアとのディスカッションを行い、今年6月に決定された、2025年からのインターンシップの変化についても情報が交換されました。二瓶様からは企業は対応に向けて準備が進められている、という話題が出ると、参加者からは教育機関に求められるインターンシップの在り方、また就職活動にとどまらない、職業統合学習に向けた教育活動に関する議論が行われました。

（北海道支部支部長 小林 純・札幌国際大学短期大学部）

【東日本支部】

2021年度第3回支部研究会および支部総会の開催

6月12日（日）に、2021年度第3回支部研究会ならびに支部総会を対面（会場：目白大学）とオンライン（Zoom）のハイブリッド形式で開催しました。

第3回支部研究会は、インターンシップに積極的に取り組まれている企業2社より事例発表をいただき、発表後に質疑応答および意見交換が行われました。まず、第4回榎本記念賞で秀逸なインターンシップを受賞された Mirai Ship PROJECT 主宰の眞野目悠太氏よりオンラインインターンシップの事例発表いただきました。次に、CSRやSDGsに積極的に取り組まれている株式会社大川印刷 代表取締役社長 大川哲郎氏より社会課題解決実践型インターンシップの事例発表いただきました。当日は25名に参加いただき、発表後の意見交換含めて盛会のうちに研究会を終えることができました。

また、研究会終了後に2021年度支部総会を開催し、2021年度の支部事業の報告と支部決算および監査報告、ならびに2022年度の支部事業計画（案）と支部予算（案）が承認されました。

2022年度第1回支部研究会

2022年度の支部研究会は、「インターンシップの実践事例を研究につなげる」をテーマに、第1回支部研究会を1月下旬に開催する予定です。今後詳細が決まり次第、会員の皆様にご案内をさせていただきます。

（東日本支部支部長 松坂 暢浩・山形大学）

【関西支部】

関西支部第17回研究会の日程などが決まりました

関西支部では、今年度も大学コンソーシアム大阪に共催していただき、2022年12月16日（金）にキャンパスポート大阪に於いて、支部研究会を開催す

ることを決定しました。対面とオンラインのハイブリッドで開催します。

最初の報告者は、和歌山大学 大学院教育学研究科教授の岡崎 裕 氏です。岡崎氏は大阪府消費生活センターの「大学生期における消費者教育推進事業」

(2016年度より実施中)と協力して、同世代や年下の若者等に対する消費者教育の担い手となる「大阪府消費者教育学生リーダー」育成に取り組んでおられます。大まかには、STEP 1で岡崎氏が学生リーダーを育成するための講義(南大阪地域大学コンソーシアムの単位互換科目として開講<昨年度には21大学の学生が履修可能>)を行い、STEP 2で学生リーダー会が消費者教育・啓発のボランティア活動に従事し、STEP 3で大阪府消費生活センターが大阪府消費者教育学生リーダーに認定するという流れです。2021年度末までの認定者は131名に上ります。さらに、2022年度に大学コンソーシアム大阪と南大阪地域大学コンソーシアムとの間で締結された単位互換包括連携協定により、2022年度後期から大学コンソーシアム大阪に加盟する34大学の学生がSTEP 1の授業を履修できることになりました。こうした有意義な取り組みを幅広く知っていただくため、大学コンソーシアム大阪と南大阪地域大学コンソーシアムそれぞれの事務局のご賛同を得て、岡崎氏をお招きし、お取り組みについてお話しいただきます。本研究会には、幅広い関係者が参加される予定です。

二つ目の報告は、第24回大会(2023年9月)の開催に向けて準備を進めている追手門学院大学の伊藤 文男 会員などによる大会テーマと連動した報告を行います。詳細については、目下検討中です。

正式なテーマが固まったところで、学会ホームページを通じてお知らせします。交流会も開催しますので、有意義な意見交換ができますことを期待しております。多くの会員のご参加を、心よりお待ちしております。

(関西支部支部長 安孫子 勇一・近畿大学)

【九州支部】

2022年8月27日(土)、28日(日)に久留米大学で行われた、日本インターンシップ学会第23回大会も終了し、2022年度の学会支部活動も再始動しました。九州支部で実施した研究会はこれまで27回を数えますが、今年度も年2回の支部研究会を計画しています。昨年度は、これまで学会大会で発表を行ったことがない会員に、まず九州支部研究会で発表をいただき、その後支部のベテラン会員がサポートしつつ、学会大会への発表につなげる仕組みを実施しました。その結果、実際に3名の会員が本大会での初の発表を行うことができました。今後も、研究経験の浅い会員のサポートや、新規会員の発掘などを念頭に、研究会を開催していきたいと考えています。

2022年度第1回九州支部研究会(通算28回)

テーマ：地域の人材育成コーディネーターからみるインターンシップ

日時：2023年2月4日(土)17:00~20:00

会場：久留米大学福岡サテライトキャンパス(福岡市中央区天神)

詳細は、学会 web サイトに掲載しますので、そちらをご覧ください。

また、九州支部は昨年度に引き続き、4月~5月頃にも、学会大会発表に向けた研究会を開催する予定です。

(九州支部支部長 眞鍋 和博・北九州市立大学)

事務局からのお知らせ

2022年度会費納入のお願い

2022年度の会費納入につきまして、会員の皆さまに案内をご送付させていただきました。2021年度(2021年7月から2022年6月)分の会費につきましては、下記口座にお振込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、『研究年報』投稿、役員選挙、大会発表は2022年度会費が納入済みであることが条件ですので、入金はまだの方は速やかに納入いただきますようお願いいたします。

【振込先】

・郵便口座 02750-1-108419
口座名義(「加入者名」の欄) 日本インターンシップ学会
・ゆうちょ銀行
店番：279 (当座)
口座番号108419
口座名義：日本インターンシップ学会
*恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

会員情報確認のお願い

会員情報管理システム(SOLTI)に登録されている内容が最新の情報に更新されているか、各自ご確認をお願いいたします。ご登録いただいたメールアドレスに学会から各種ご連絡やご案内を送信しております。修正が必要な場合は、学会ホームページ左下の「SOLTI:会員情報照会・更新」にログインし、各自修正をお願いします。ログイン方法や修正方法が分からない場合は、会員管理事務局(ガリレオ学会業務情報化センター

電話：03-5981-9824/FAX：03-5981-9852

e-mail:g035jsi-support@ml.gakkai.ne.jp

宛にお問い合わせください。

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER 2022 No.1

発行日：2022（令和4）年12月2日

発行：日本インターンシップ学会 会長 吉本 圭一

編集・印刷：日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 眞鍋 和博

事務局：日本インターンシップ学会事務局 事務局長 山口 圭介

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル 401

(株)ガリレオ学会業務情報化センター内

日本インターンシップ学会 会員管理事務局

TEL：03-5981-9824 FAX：03-5981-9852

e-mail: g035jsi-support@ml.gakkai.ne.jp